のです。このように正確な図形が書けるソフトをドローソフトといいます。定規やコンパスなどのツールを利用して、極めて正確な絵を描くことができます。

**家族のデジタルアルバムを作る**

　パソコンが家庭に入るにしたがい、新しいパソコンの使い方として、パソコンでアルバムを作成する人が増えてきました。このアルバムをデジタルアルバム、または電子アルバムといいます。

　これは、デジタルカメラが低価格したためでもあります。デジタルカメラとは、電子的に写真を撮る機械で、写真イメージをデジタルデータの形で残します。デジタルですから、パソコンと自在にデータ交換できます。

　このデジタルカメラでデジタル写真を撮影し、パソコンに取り込みます。その写真にパソコン側の機能で文字を書き込んだり、枠を付けたり、大きさを変えたりなど、さまざまな演出が可能です。さらに、その写真を自動的にパラパラとめくるスライド機能も用意されており、パソコンの画面で写真を披露するわけです。

　例えば、家族で旅行に行ったとします。移動中や観光地、食事、ホテルなどの風景を撮影し、それらをパソコンに順番に登録します。もちろん、画像加工も自由に行うことができます。家族の思い出の写真をパソコンに登録したり、子供の成長記録をデジタルな画像で残すことができるので家族思いの人にはたまりません。これは大人の人にとってお絵描きよりも、ずっと効果的にパソコンを覚えられるかもしれません。

　もちろん、家庭だけではありません。会社での出張報告書や、プレゼンテーションに活用でき、仕事にもデジタルカメラは最適です。

**ＤＴＰで本を出版しよう**

　パソコンは印刷編集の世界に、非常に大きな影響を与えました。パソコンで本や雑誌の編集ができるようになったのです。

　かつて、編集というのは執筆者が書いた原稿を編集者がまとめ、デザイナーがレイアウトして、版下というフィルム作成用の完成原稿を作成しました。さらに、それをフィルムにして印刷所に回していました。この辺